

み の う ほ く ろ く 耳納北麓のジェラート

【久留米市】

世界のつばき館の「久留米つばきジェラート」は久留米ツバキ「正義」(写真右上)をイメージして作られた

新鮮なミルクにつばき油をブレンドし、あまおうの果肉を混ぜ込んだジェラートは、濃厚でなめらか



久留米市で、平成29年に誕生した「耳納北麓ジェラート街道」。耳納連山の麓を走る県道151号沿線約11キロメートルの間に、フルーツをはじめ、つばき油や桜甘酒、豆乳など地元の素材をふんだんに使ったジェラートを販売する8店舗が点在し、一年を通して各店舗こだわりのジェラート巡りが楽しめます。

「ジェラートをきっかけに足を運んでいただき、地域の人とコミュニケーションを取っていただくのが何よりもうれしいですね」と語るのは、久留米市世界のつばき館の田中雅秀さん。今後は販売店舗をさらに増やして、うきは市を含む約30キロメートルを魅力あふれる街道に発展させたいと意気込みます。



ツバキが好きで周辺観光にも詳しい田中雅秀さん



世界のつばき館では原種ツバキ100種以上を展示し、7月からは第3回ジェラート総選挙も開催予定。ジェラート片手に耳納北麓を散策してみませんか？



8店舗のジェラート販売店は、こののぼりが目印！

「耳納北麓ジェラート街道」について、詳しくはこちら▶



問い合わせ：

久留米市世界のつばき館
☎/ファクス0942-47-1821
営業時間/9時～17時
定休日/第3木曜日(祝日の場合は翌日)

Do you know Fukuoka?

知ってる？ 福岡県

vol.12

短い！ ゆっくり！ 門司港レトロ観光列車「潮風号」

門司港地区の観光を盛り上げる列車といえば、北九州銀行レトロラインを走る「潮風号」。実はこの列車、運行距離2.1キロメートルという短さと、最高時速約15キロメートルという遅さがどちらも全国的にトップクラスであることをご存じですか？

潮風号は、平成21年、石灰を運ぶ役目を終えて休止されていた貨物専用線を利用し、名称を市民から募って名付けられました。停車駅は「九州鉄道記念館駅」「出光美術館駅」など4駅で、海沿いの景色や関門橋、門司港レトロの街並みなど見どころ満載です。

近年は外国人観光客も増加し、人気なのは「関門海峡クローバーきっぷ」。潮風号に乗って終点の「関門海峡めかり駅」から「関門人道トンネル」を歩いて下関に渡り、「サンデンプラス」を使って下関・唐戸観光を楽しんで「関門汽船」で門司港に戻り、関門海峡をぐるっと一周することができます。



左から運転士の太野満久さん、門司港事業所長の桑野清音さん、車掌の川端美緒さん



普通鉄道としては全国初の観光に目的を特化した鉄道として誕生した「潮風号」

ることができます。

「車窓の景色をはじめ、各停車駅近辺にもご家族やカップルで楽しめる観光地がたくさんありますよ」と語るのは、潮風号を運行する平成筑豊鉄道株式会社の桑野清音さん。3月にリニューアルされたJR門司港駅の雄姿と合わせて、初夏の「潮風」をのんびり感じてみませんか？



トンネルに入ると天井いっぱいに魚の絵が浮かび上がり車内に歓声があがる

問い合わせ：平成筑豊鉄道株式会社 門司港事業所
☎093-331-1065 ファクス093-331-1265

●「潮風号」運行期間：3月中旬～11月下旬の土日祝日、GW、春休み、夏休みは毎日運行